# 那覇市MICE参加者 実態調査レポート

那覇市では、MICEをきっかけに本市を訪れ宿泊された方を対象に、市内外での行動、満足している点などについて調査を行いました。 本レポートは、観光・レジャーを主な目的に那覇市を訪れる方(一般観光客)と、MICEで訪れる方との比較等を行ったレポートです。

本レポートにおける一般観光客の数値出展元:令和5年度版 那覇市の観光統計

# 1 はじめに

那覇市の取組と 本調査の目的

MICE (Meeting, Incentive, Convention, Exhibition) は、 観光業と地域経済に大きな影響を与える分野であり、 那覇市においては重要な施策に位置付け、その推進に取り組んでいます。

本調査では、MICE来訪者と一般観光客の消費動向や行動特性を比較し、 地域経済への寄与を明確にすることを目的とします。

※本調査では、MICE (Meeting, Incentive, Convention, Exhibition)のうち、MICを対象としています。 これは、那覇市におけるMICEの実施状況を踏まえたものであり、E(Exhibition,)については、 今回の分析からは除外しています。

調査対象/全国の20~69歳の男女 調査方法/インターネットリサーチ

# MICとは

- M…企業等の会議
- Ⅰ …企業の報奨旅行、研修旅行、 慰安旅行など
- C…国内外学会・総会・国際会議・

有効回答数/2.062サンプル

対象者条件

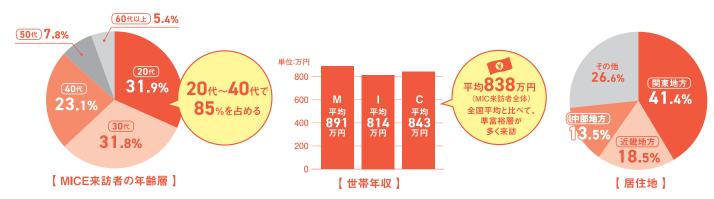
直近1年以内に、MIC各目的で沖縄県に来訪した ・MIC各目的で来訪した際に、那覇市内で宿泊をした ・MIC各目的で来訪した際に、沖縄県外居住であった

## 2 回答者属性·滞在比較

調査について

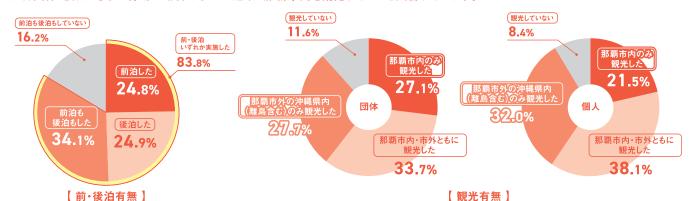
本調査における回答者(MICE参加者)の特徴として、全回答者の85%を20代~40代が占めますが、 平均世帯年収が838万円となっており、全国平均(※1)と比べて世帯年収の高い層が来訪していると推察されます。 また、居住地割合が関東地方、近畿地方、中部地方の順に多くなる傾向は一般観光客と同様の傾向を示しています。

※1…全国平均:524,2万円(厚生労働省:2023年(令和5年)国民生活基礎調査の概況)



公式日程以外に沖縄県内での滞在状況を確認したところ、「前・後泊いずれか実施」した割合が83.8%となっており、 公式日程の前後で個人的な余暇やレジャーを過ごしていることが分かります。

また、団体・個人どちらの行動の場合でも60%近くが那覇市内を観光していると回答しています。

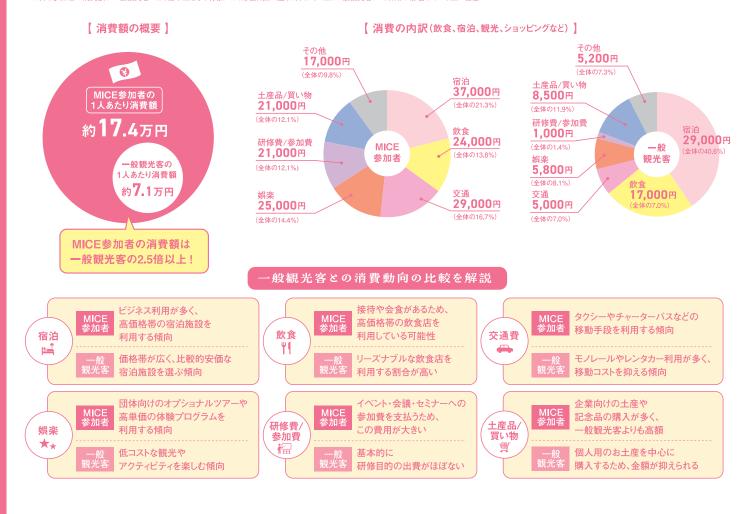


## ③ 市内消費額の分析

MICE参加者は一般観光客と比べ、1人あたりの消費額が高いです。

特に宿泊・飲食・交通の出費が多く、企業負担による支出が増える傾向にあります。

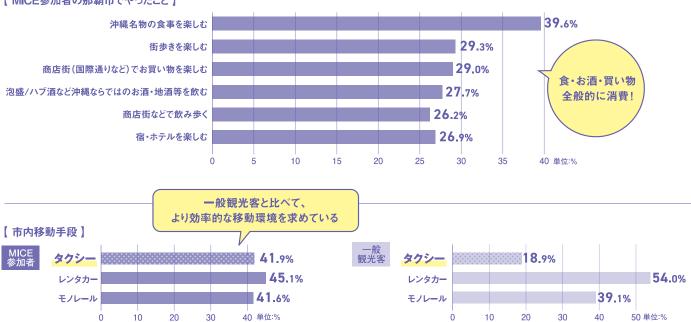
※MICE参加者の消費額が一般観光客の2.5倍以上となる背景には、滞在日数の差 (MICE: 3.4泊、一般観光客: 1.58泊) が影響している点に留意



## 4 MICE参加者の行動特性と体験満足度の分析

観光スポットや食事体験の実施率が高いことから、MICE参加者が限られた公式日程中等の時間を活用し滞在を楽しみたい傾向が伺えます。 特に、国際通りや泡盛・伝統工芸の体験、地元の人気飲食店の利用が多く、食・お酒・買い物が主要な消費要素となっています。 また、一般観光客と比較して、移動手段のうちタクシー利用が2倍近く多くなっています。

# 【 MICE参加者の那覇市でやったこと 】

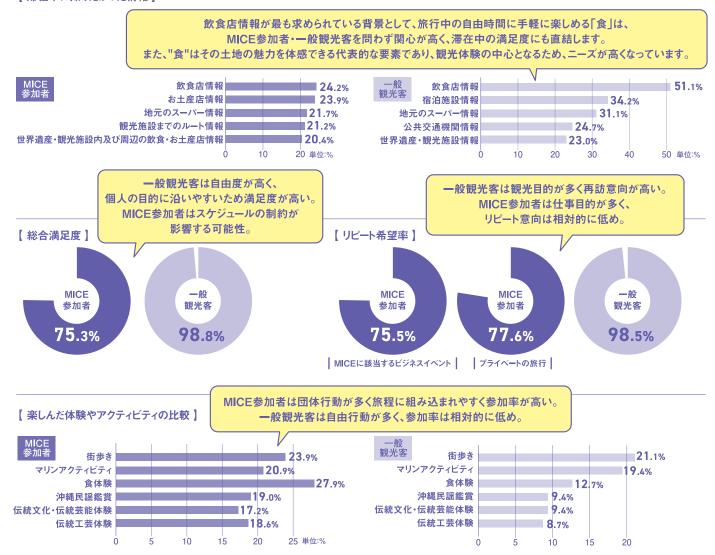


MICE参加者と一般観光客ともに滞在中に最も求めている情報は「飲食店」に関する情報となっている。

総合満足度・リピート希望率については、MICE参加者より一般観光客が高い傾向があります。

一般観光客よりも、MICE参加者の方が全体的に体験・アクティビティ実施率が高く、特に伝統文化等の体験に関しては10ポイント近く高くなっています。

#### 【滞在中に知りたかった情報】

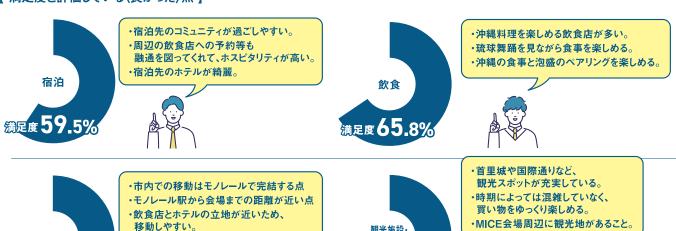


## 5 交通・飲食・宿泊・観光施設別の洞察

MICE参加者は一般観光客と比べ、宿泊・飲食・移動手段に対する利便性や快適さを重視する傾向があります。

特に、交通手段のスムーズさや、団体での受け入れ環境、MICE向けの特別プランの充実度が、満足度を左右する要因となっている一方で、 渋滞やタクシー不足、大型団体の受け入れキャパシティなどの課題も浮き彫りとなっており、これらの改善が満足度向上に必要です。

#### 【 満足度と評価している(良かった)点】



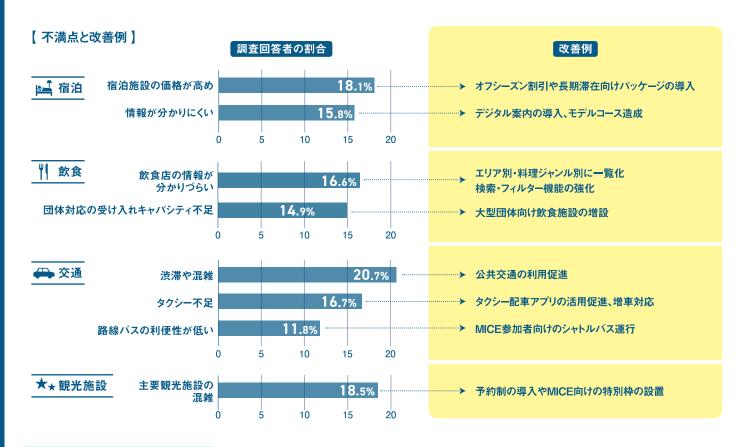






・MICE会場周辺に観光地があること。





## 6 今後の方向性と提言

# MICEは経済振興と街づくりに貢献

今回の調査により、MICE参加者1人あたりの消費額が一般観光客の2.5倍に上ることや 伝統工芸体験などの体験・アクティビティ実施率が一般観光客よりも高いことなどが明らかとなりました。 このことは、MICE参加者の来訪時の行動が高い経済効果をもたらすだけでなく、 地域資源の認知向上や消費促進による歴史文化の発展や継承につながるなど、

持続可能なまちづくりにも寄与していくと考えられます。

今後、MICEの誘致・開催を通して、さらに那覇市の経済振興・街づくりを推進していくためには、 MICEによってもたらされる効果を、宿泊、飲食、交通、観光施設などの関係事業者と共有し、 連携した受入体制の強化と、一般観光客との違いを意識した取組が必要です。



#### 今後の取組の例

#### ● 宿泊事業者

- ・MICE参加者向けの宿泊プランや団体割引の提供。
- ・施設内でのMICE関連サービス(会議室提供・送迎など)の拡充。

## 3 交通事業者

- ・MICE参加者向けのタクシー配車サービス・定額運賃制度の導入。
- ・空港・会場間の直行便や専用交通手段の拡充。

#### 2 飲食事業者

- ・団体予約の受け入れ体制を強化。
- ・MICE向けの特別プランの開発。

## 4 観光施設事業者

- ・MICE向けの特別プラン(貸切プログラム・ナイトツアー等)の企画。
- ・企業研修やチームビルディング向けの体験型プログラムの開発。

## 一般観光客との比較から見えてくる新たな施策の提案

- ◆MICE参加者は限られた時間での観光を求める。
- ◆伝統文化体験等の実施率が高い。 「開催地理解」が求められ、文化体験が推奨される。
- ◆移動をスムーズにしたい。(一般観光客よりもタクシーの利用率が高い。) …
- ◆お土産・記念品の購入を効率的にしたい。<sup>--</sup>

- → MICE参加者向けツアー・ナイトタイムコンテンツの造成。
- ▶ 那覇市らしさを活かした文化体験・伝統芸能の提供。
- ·▶ タクシー配車アプリの活用促進。(専用クーポンの発行や定額運賃の設定。)
- ➤ MICE専用お土産セットの販売。(会場やホテルでの購入が可能な商品開発。)